

# 大宮とおる

## 信頼と挑戦

共に創る小布施の未来へ



はじめまして、大宮とおるです。

私は、都市計画を学ぶ大学生だった15年前に、はじめて小布施町を訪れました。

それ以来、この町が積み重ねてきたまちづくりの歴史やその可能性に魅了され、私自身もその一翼を担いたいと思い、行政、民間、住民など、様々な立場から、小布施町のまちづくりに携わらせていただきました。

その中で、多くの町民の皆さんにお世話になり、助けていただきました。

**「未熟な私を育てていただいたこの町に恩返しをしたい。」**

この思いが、今の私の活動の原動力になっています。

コロナ禍から日常を取り戻し、日本が、世界が大きく変化している今。

変化の激しい時代にあっても、小布施町は、これからもさらにその魅力を広げ、地域の力を生かせる可能性がある町だと確信しています。

町民の皆さんのお気持ちに寄り添い、貪欲に挑戦し続け、町民の皆さんと共に創る町政の実現に向け、一歩ずつ、取り組んでまいります。

大宮とおる  
プロフィール

東京大学・同大学院で都市計画・住民参画のまちづくりについて学んだのち、2013年より、小布施町の政策推進や全国の自治体の政策づくりに携わる。2020年より小布施町役場に入庁、総務課長や企画財政課長を担当。2024年9月に退職し、現在に至る。2児の子育て中。

# 「3つの柱で、小布施を、もっと前に！」

## ① 農業・農村に、もっと活力を

すべての農家のみなさんが安心して農業を続けられる環境をつくり、農業立町としての小布施の力を更に高めます。また、果樹を中心にした美しい農村景観を継承し、農村地域への移住促進を図ることで、活力溢れる農村地域をつくります。

### 具体的な施策

- 凍霜害対策や収入保障保険など、農業分野の温暖化対策の強化 ●農業基盤の整備
- 農産物の販路拡大 ●農地情報の把握と、借りたい・貸したい人のマッチング強化 ●農商工連携の促進
- 「まちじゅうホテル構想」の推進 ●農村地域への移住支援の推進

## ② 子育て家族に、もっと手厚く

長野県でトップ水準の子育て環境を整え、子育て家族が安心して子育てできる町をつくります。また、子育て家族が暮らしやすいまちづくりを進めることで、若者のUターン・Iターン(移住・定住)を推進します。

### 具体的な施策

- 安心して子育てできる環境づくり ●中学校給食費の段階的な無償化
- 教育環境の充実 ●小学校低学年からの学習支援と不登校支援の強化

## ③ 高齢になっても、もっと暮らしやすく

老後も、いきいきと働いたり、地域のために活動したり、楽しみを見つけながら、地域のなかで活力をもって暮らせる健康長寿の町をつくります。また、日常生活に不安があっても、支え合い、安心して暮らしつづけられるまちづくりを進めます。

### 具体的な施策

- 高齢者の日常生活支援の強化 ●いくつになっても活躍できるまちづくり
- 誰もが移動しやすい新しい地域の公共交通手段の導入検討 ●介護を支える家族支援の強化



その他、分野別の政策につきましては、  
「まちづくり政策提案集」をご覧ください。

<https://www.omiyatoru.jp>